

令和2年9月

葉栗連区

地域づくり協議会だより

47号

発行日：令和2年9月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001

☆ 葉栗連区消防分団の活動にご協力を！ ☆



消防団は、消防署と同様、それぞれの市町村に設置される消防機関です。

一宮市の消防団は、1団4方面25分団、定員605名の体制で、火災・風水害等の災害防除にあたるとともに、地元行事の警備や火災予防広報等の活動をしています。

地域における消防防災のリーダーとして、平常時、非常時を問わずその地域に密着し、住民の安全と安心を守っています。

葉栗連区の消防分団は、北部方面隊に所属し、葉栗北分団と葉栗南分団に分かれています。

消防団員は、「職業としての消防士」ではなく、他に本業を持ちながら『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護の精神に基づき、地域の安全と安心を守るために活躍している【ボランティア・ファイヤーファイター】です。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に大規模災害時の消防力の強化が極めて重大な課題となってきています。

葉栗連区として、地域防災の中核を担い、広域な活動を任務としている消防団員に対して団員の活動を支援していきたくと思います。

葉栗連区は、23の町内会で組織されています。各町内で2名の団員を選出していただきたいと思ます。地域の安全・安心は地域で守るためにご協力をお願いします。



【問合せ先】

北部消防分団

大脇吉高 ☎080-3628-5629

南部消防分団

小島清隆 ☎090-1237-4293

☆ 葉栗連区町会長会で防災研修を開催 ☆

8月7日(金)、葉栗公民館で町内会長を対象とした防災研修を開催しました。今年度は、大地震を経験した外部の講師を招いて多くの人に参加していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため参加者を限定しての研修となりました。

一宮市危機管理室からの出前講座として、様々な災害対策や災害が発生した時の安全確保、近隣者の生存確認、避難場所の確認、緊急連絡網の確認など、参加者は真剣に研修を受けていました。

災害はいつ起きるかわかりません。常日頃から安全グッズ、非常食の確認、特に保存水の備蓄に心がけてください。また、「向こう3軒・両隣」の確認をお願いします。

今年も連区全体での防災訓練は行いませんので、各町内で自主防災組織を結成して、少人数で結構ですので、町内会単位で防災訓練の開催をお願いしたいと思います。



☆ 島文楽保存会 恒例の虫干し ☆



島文楽の虫干しは、毎年8月の第1日曜日に開催されており、今年は、8月2日(日)午前10時から島村公民館で行われました。

島文楽は「島デコ」の愛称で親しまれ、昭和36年に一宮市無形民俗文化財に指定され、人形は現在60点ほど保存されており、その中で36点が平成元年に市指定有形民俗文化財となっています。

文楽人形の特徴は、「三人遣い」で、その中心となる人を「主遣い」といい、人形の首につながる胸串という棒を左手で握って人形全体を支え、右手で人形の右手を遣います。

「左遣い」は右手で人形の左手を遣い、「足遣い」は後ろから中腰に構え足の運びを操りします。

現在、会員は18名で最高齢者は90歳の岩田一男さん、年少者は葉栗中学校3年の小島千沙さんと妹の三佳さん葉栗小学校6年生です。

従来は、地元の小中学生と一緒に人形遣いを行っていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため演目の「傾城阿波鳴門 巡礼歌の段」の練習風景を観ていただきました。母親の「おゆみ」の主遣いを小島千沙さん、娘「おつる」の主遣いを小島三佳さんが演じました。

毎週日曜日午後5時から島村公民館で練習をしています。地元につながる文化芸能の島文楽をぜひ観に来てください。興味のある方は、下記へお尋ねください。



【問合せ先】
 会長 森日出雄
 ☎78-1605
 副会長 小島竹弘
 ☎78-1792

☆ ごみの分別回収にご協力をお願いします ☆

可燃ごみ



紙おむつ(汚物を除く)



台所ごみ



ビデオテープ類



カバン・靴類

回収資源



新聞紙・チラシ



雑誌類



紙・雑紙



ガラス瓶



古衣料・毛布

9月・10月のイベント

9月：連区敬老会式典中止(対象者には祝い品郵送)。

葉栗北小学校運動会・自由研究作品展中止。

25日(金)「葉栗北小学校：「はぐりんピック」(小・中・高学年に分かれて実施)。

25日(金)交通安全一斉監視活動：各町内

10月：連区大運動会中止。寿大学講座中止。ごみゼロ運動中止。

葉栗中学校：15日(木)、16日(金)スポーツ大会(学年ごと)。22日(木)祝い餅の稲刈り